

5つの領域別支援プログラム

児童発達支援

令和7年1月1日作成



こども発達サポート

カラフルびわ

1. はじめに

令和 6 年度の報酬改定において、放課後等デイサービスおよび、児童発達支援では、「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域連携・地域支援」についての方向性が打ち出されました。また、この4つについて、アセスメントを行うと共に、事業所の支援プログラムへの明記、個別支援計画書への明記が基本となりました。

カラフルでは、令和 6 年 4 月から個別支援計画書の用紙の変更、これまで行ってきた支援プログラムの変更を行いました。

2. 本人支援について

児童発達支援ガイドラインでは、『乳幼児期という生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期であることから、包括的かつ丁寧にこどもの発達段階や特性に応じた支援の提供が重要』また、放課後等デイサービスガイドラインでは『こどもの育ち全体的に必要な支援を組み立てていくことを重要』とし、本人支援は、5つの領域(以下5領域と記載)について明記することとなりました。

① 健康・生活

- ・健康状態の維持・改善
- ・生活習慣や生活リズムの形成
- ・基本的な生活スキルの獲得

② 運動・感覚

- ・姿勢と運動・基本的技能の向上
- ・姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用
- ・感覚の特性への対応 等

③ 認知・行動

- ・認知の特性についての理解と対応
- ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得
- ・行動障害への予防および対応 等

④ 言語・コミュニケーション

- ・コミュニケーションの基礎的能力の向上
- ・言語の受容と表出
- ・状況に応じたコミュニケーション 等

⑤ 人間関係・社会性

- ・情緒の安定
- ・他者とのかかわりの形成
- ・自己理解と行動の調整、仲間作り、社会性の発達 等

3. カラフルの児童発達支援の支援プログラムについて

法人(事業所)理念		・1人ひとりのカラフルな個性が尊重され、家族や地域とともに、いきいきと自分らしく生きていける社会を目指します。
支援方針		・1人ひとりの発達を多面的かつ全体的にとらえ支援します。 ・幼児期から学齢期まで、継続した支援を行います。
営業時間		9時00分～17時00分
送迎の有無		送迎はありません。
支援内容		
本人支援	① 健康・生活	・生活の土台となる、心身の健康状態の把握を行います。(睡眠や服薬の把握・体温計測・家庭の健康状態の把握・日常の健康状態の観察) ・個々のペースに合わせて、身の回りの持ち物の片付け・おやつ、排泄や衣服の着脱など、基本的な日常生活の獲得を支援します。 ・生活リズムの安定を図ります。
	② 運動・感覚	【3歳児】 ・運動遊びや活動の中で、いろいろな感覚を感じたり、いろいろな動きを経験したりします。 ・粗大運動遊びを通して、体幹を育てます。 【4歳児・5歳児】 ・いろいろな運動遊びや活動の中で、自分の身体のイメージや運動を企画する力を育て、遊具や状況に応じた身体の使い方を引き出します。 ・ハサミやペンなどを使った制作活動を通して、手先の操作性を高めます。
	③ 認知・行動	【3歳児】 ・わかりやすい環境設定や具体物、イラストなど視覚支援を得る中で、わかることが増え、遊びや興味関心を広げます。 ・『はじめ』と『おわり』を意識し、気持ちの切り替えを経験する中で、次の活動への見通しを持つ力を育てます。 【4歳児・5歳児】 ・他者の説明を見たり聞いたりする中で、活動全体の見通しやルールを知り、主体的に参加する力を育てます。 ・活動内容、ルール等を理解して参加する中で、新しい遊びへの挑戦意欲を引き出し、達成感、満足感の積み上げの中で、自己肯定感を育てます。
	④ 言語・コミュニケーション	【3歳児】 ・興味ある遊びを大人と一緒に思う存分遊ぶ中で、模倣や相手への注目など、他者意識を育てます。 ・「もう1回」「もっとしたい」などの要求や、「うれしい」「たのしい」などの豊かな感情を育てます。 ・身振りやサイン、イラスト、ことばなどを使って相手に伝えたい、伝達意欲を育てます。 ・知っていることばや、ことばの概念を広げます。 ・楽しい遊びの中で、相手からのかかわりを期待する姿を育てます。 【4歳児・5歳児】 ・いろいろな活動の中で、言葉や言葉の概念を育てます。 ・場面や状況に応じた言葉の使い方を育てます。 ・友だちとの遊びの中で、自分の思いを伝えたり、相手の思いに気づいたりするなどのコミュニケーションの力を育てます。

	⑤ 人間関係・社会性	【3 歳児】 ・ふれあい遊びや好きな遊びを他者と思う存分行う中で、身近な人への安心感、信頼関係を育てます。 ・いろいろな遊びや活動の中で、他者(友だち)への意識を高めます。 【4 歳児・5 歳児】 ・友だちと活動する中で、自分の気持ちに折り合いをつけるなど、気持ちや行動、感情を調整することを経験します。 ・決められた約束を守る、順番を守るなどの社会性を育てます。	
家族支援	・保護者の悩みに寄り添い、行動の背景を考えながら、課題解決に向けてご家族をサポートします。 ・発達検査等のフォーマルなアセスメントを用いて、子どもの発達について理解を深めます。	移行支援	・本人、家族を支援の中心に置き、相談支援事業所や在籍園と連携を取り、どのようなサービスが適切かを考えます。 ・本人の様子や在籍園での様子、家庭での様子を総合的かつ多面的にとらえ、支援の継続や終了について考えます。
地域支援 地域連携	・必要に応じ、在籍園や就学先となる学校、幼児課、健康推進課等の関係機関と連携を取り、総合的な支援を目指します。	職員の質の向上	・キャリアアップ研修、専門分野別研修等受講。 ・ケース検討会議を通して、職員一人一人の支援の質の向上。 ・スーパーバイザーによる実践研修。 ・市からの外部講師による、虐待防止、災害対策等の研修会の開催。

4. 主な活動と 5 領域のつながり(児童発達支援)

・自立支援 (荷物の整理、排泄、衣服の着脱)	①健康・生活 ②運動・感覚 ④言語・コミュニケーション
・始まりの会、帰りの会	③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
・季節の制作	①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動
・持ち物の片付け ・おやつ ・トイレ	①健康・生活 ④言語・コミュニケーション
・外遊び、散歩 (公園遊び、虫とり 等)	①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
・感触遊び (粘土、スライム、ボールプール、新聞)	②運動・感覚 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
・粗大運動遊び、リズム体操 (室内ブランコなどの吊り遊具 ハシゴ、1 本橋、滑り台などを組んだ運動遊び)	②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
・ふれあい遊び (おひざの遊び、くすぐり遊びなど)	③認知・行動 ②運動・感覚 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
・クッキング	①健康・生活 ②運動・感覚 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
・ごっこあそび ・ルールのある遊び ・チームで行う遊び ・勝ち負けのある遊び	③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
・就学に向けた支援	②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
・親子活動 (クリスマス会、夏祭り)	④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性